

## 会員募集中!!

今後起こりえる大規模災害に備えるためにも、幅広い支援団体の連携による対応が必須となります。

災害時の支援連携体制の構築に、平時のゆるやかな支援ネットワークづくりや人材育成に協力いただける各専門分野の団体や個人の方の協力を募集しています。

また、ご寄付や賛助会員等の資金援助をいただける方も併せて募集しております！

皆さまのご協力をお願いいたします。

### 正会員

本会の目的に賛同して入会し、総会議決権を有し  
災害支援活動を行う個人または団体

団体 2,000円/年

個人 1,000円/年

### 準会員

正会員以外で本会の目的に賛同して入会し、  
災害支援活動を行う個人または団体

団体 1,000円/年

個人 500円/年

### 賛助会員

本会の目的に賛同し、経済的な支援や活動への貢献を  
目的として入会する個人または団体

個人・団体 5,000円/回

### 寄付金受付口座

大分銀行 県庁内支店 (普通) 7536700  
おおいた災害支援つなぐネットワーク 代表理事 山下莖三

◆ ◆ こんな団体の方が会員になっています (順不同、敬称略) ◆ ◆

NPO法人おおいたNPOデザインセンター、大分市キャンプ協会、大分市女性防災士会、  
NPO法人子育て応援ワクワクピース、NPO法人SAVA SPORTS CLUB、NPO法人べっぴん未来塾、NPO法人まど、  
合同会社大分ヘリテイジマネジメント、ボランティアグループ「暮らしつなぎ隊」、NPOえびの会、  
NPO法人法人子育て応援レストラン、NPO法人クラウンボランティア・ティアドロップ、  
NPO法人しげまさ子ども食堂-げんき広場-、わだーべつ牧場、MIXJUICE株式会社 ほか

災害支援では、被災者の長年に渡る支援で  
多分野の知識・ノウハウ・行動力がようになります。  
被災地で復旧・復興支援のできる  
専門団体・個人の方の入会をお待ちしています！

## 大分県災害中間支援組織



国道197号線沿 大分市中央消防署 南向い側のビル  
※当ビル1Fビロテイに駐車場あり(1台分)  
大分バス「城崎」バス停から徒歩1分

お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください

〒870-0023

大分県大分市長浜町1丁目12-3 今田ビル222

おおいた総合中間支援センター内

【TEL&FAX】097-574-5258

【直通携帯】080-7819-0121

【E-mail】mail@o-link.info

【WEB】http://o-link.info/



WEBサイト



facebook

## 大分県災害中間支援組織

おおいた災害支援つなぐネットワーク

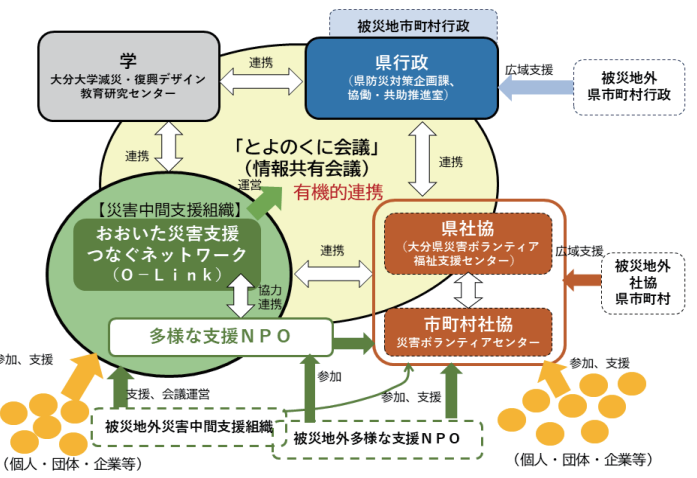
# o-link



いつかのために、いまつなぐ

災害時、的確な支援を届けるための「つなぎ役」

おおいた災害支援つなぐネットワーク（O-Link）は、災害が発生した際（発災時）に行政、NPO・ボランティア団体、社会福祉協議会、企業等の各専門分野の組織や個人が連携し、円滑な支援活動を行うための「災害中間支援組織」です。  
 構成団体・関係機関との平時からの連携により、発災時には災害支援活動のハブとなり、初動時から被災地・被災者の状況を正確に把握し、情報共有や資機材の調整、現場のニーズと支援リソースのマッチング等を通じて、被災地・被災者が必要とする支援を迅速かつ的確に届けるためのコーディネーター役を担います。



活動内容

被災地・被災者のニーズを的確に把握し、適切な支援につなげるためのコーディネーターを行います。発災時の情報収集・共有、支援ニーズの把握と支援リソースのマッチング、専門的なボランティアによる支援・調整、関係機関との連携強化、被災者への情報提供等、構成組織（NPO等）が普段支援対象に対して専門的に行うそれぞれの強みを活かした活動を展開し、被災者中心・地元主体・協働という原則で被災者の生活再建に貢献していきます。



▼ 平時活動

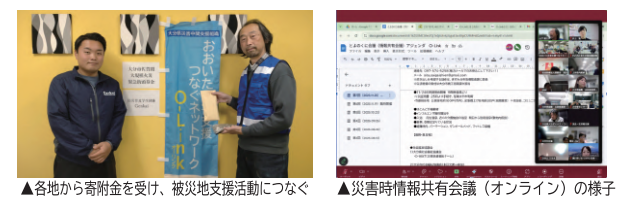
- ◆ 定時情報共有会議「とよのくに会議」（毎月第4木曜日）や研修会、訓練等の実施



- ◆ 全国の災害支援団体、災害中間支援組織との情報交換・共有
- ◆ ホームページやSNS、出版物等での情報発信
- ◆ レスキュー資機材の備蓄状況の把握と情報共有
- ◆ 災害先遣隊要員及びコーディネーターの育成

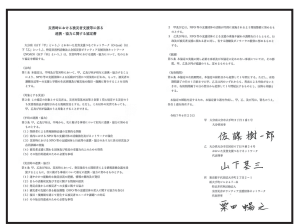
▼ 災害時活動

- ◆ 災害時情報共有会議「とよのくに会議」実施（随時）
- ◆ 支援状況及びニーズの把握
- ◆ フェーズ移行に応じた支援調整
- ◆ 支援団体等への情報共有コーディネーション
- ◆ 支援策の提言と支援後の検証



今後すべての都道府県に設置される「災害中間支援組織」

内閣府では、「災害中間支援組織」を2030年度までにすべての都道府県へ設置する方針です。  
 これは2023年改定の防災基本計画で全国普及が盛り込まれ、それに伴い大分県の「O-Link」は令和7年6月に全国25番目に発足しました。  
 また、発足後、大分県・認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）と「災害時における被災者支援等に係る連携・協力に関する協定」を締結し、平時からの三者連携により発災時に有効な支援活動ができるような環境整備を行っています。



▼ 被災者支援における14の専門分野

発災 → 3か月 → 半年 → 2年	被災者の生活の場所ごとの分野	避難生活を支える
①在宅 (調査、移動、家賃、健康、経済、個別ケース)	②避難所 (調査、運営(環境整備など))	③応急仮設住宅 (環境整備、移動、見守り、生きが、個別ケース)
④災害公営住宅 (環境整備、見守り、個別ケース)	⑤食と栄養 (食料、食事、調理環境、個別ケース)	⑥子ども (居場所、ストレス・メンタルケア、施設再開など)
⑦物資 (衣料、消耗品、家電、備品)	⑧保健医療福祉/要配慮者 (ケース、環境整備、物資など)	⑨外国人 (多言語発信、翻訳・通訳、調査)
⑩ペット (食料、飼育用品、住み分け、健康)	⑪家屋保全 (床下、壁、屋根、ガレ、土砂、貴重品、法面)	⑫暮らしの再建 (相談、ケース、経済、物資、転居、写真)
⑬コミュニティ形成 (施設、備品、場、まちづくり、文化・芸術、お祭り)	⑭生業 (農業、商店、事業所、販売、イベント)	⑮地域の賑わい

※シナリオに限定して上記のあらゆる領域を網羅していることにも留意する必要があります。

▲JVOAD資料より引用

- ①在宅、②避難所、③応急仮設住宅、④災害公営住宅、⑤食と栄養、⑥子ども、⑦物資、⑧保健医療福祉/要配慮者、⑨外国人、⑩ペット、⑪家屋保全、⑫暮らしの再建、⑬コミュニティ形成、⑭生業

▼ 活動参考写真

